



こまくさ

平成29年
11月22日(水)
No.32

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

今日は5年ひびき学年が収穫したひびき米を使った「ひびきカレー」の日でした。毎年のことですが、普段の何倍も食べます。今年もおいしくいただきました。5年生の皆さん、ありがとうございました。

さて、今回は14日の中間公開の様子と課外活動のお知らせをお届けします。

公開研究会

14日の公開研究会は、総勢100名ほどの先生方をお迎えして行われました。指導者として、文部科学省のS. 調査官、秋田大学北秋田分校長のH. 先生、教育事務所の所長さんをはじめ、たくさんの方々に授業をご覧いただきました。また、県内の生活科や総合的な学習の時間（以下総合）を研究している先生方、生保内小学校応援団の方々、教育委員会、市役所の方々にも参観いただきました。

子どもたちの活躍で、授業は大変盛り上がりしました。1年生は、だしのご園の年長さんを招待して遊ぶために、色々工夫して活動したり話し合ったりして計画を立てました。下の写真は11月16日に、実際に招待して遊んだ様子です。楽しそうですね。



1年授業



園児との交流



園児との交流



2年授業

2年生は、町探検で好きになった場所やものをどのように伝えるかを話し合いました。左の写真はその様子です。

裏になりますが、3年生以上の総合の授業の様子です。

中間公開までの研究の成果としては、一番に地域との交流の積み重ねが挙げられました。H. 先生のお話では「ふるさと教育は昭和の終わり頃から始まり、平成の初めに確立されて現在まで続いている。効果として、ふるさとを愛する子どもたちが育っているこ



とはもちろん、子どもたちの学力が高いのも、ふるさとを題材にした学習を進めることで、課題解決学習（自分で選んだ課題をどのようにしたら解決できるか考え、体験活動をしたり探求活動をしたりしながら課題を解決していく学習の仕方）のやり方が身についているからだ。」というお話をしてくださいました。アクティブラーニングとしてメディアなどで取り上げられた学習は、まさに秋田県で取り組んで来た学習方法で、先進県と言って良いと思います。

課題としては、書く学習を充実すること、子どもたちの話の内容を高めること、学習を始める時のめあての確認の仕方をもっと工夫することなどが挙げられました。私たちが研究を深めていくのはもちろんですが、よりよい学習の仕方など、子どもたちにも紹介していきます。

課外活動のお知らせ

先週のミニバスケットの大会は、子どもたちは頑張りましたが、残念ながら準々決勝で敗れてしまい、県大会には出場できません。本当に惜しいところでした。次号で点数などお知らせします。

25日土曜日は、剣道の大会、金管バンド部の演奏会がありますのでお知らせします。

《剣道》

ふれあい体育館 9時

《交流演奏会》

仙南小学校体育館 午後1時30分出演

ひびきカレー



5年生のひびき米を、5年生が各学級に配達してくれました。今日は、5年生の家庭科に応援団のS.さんがきてくださっていたので、ひびきカレーをご馳走しました。下の写真は、佐々木さんにひびき米の説明をする5年生のO.さん（手前）とT.さんです。S.さんは、



おいしさと5年生の立派さに感動してお帰りになりました。